

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成24年 05月 01日

事務事業名	都市下水路維持管理事業				担当	建設部 下水道課 維持係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				電話番号	83-8162		
施策名	2	下水道事業の推進				<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業		
基本事業名									
法令根拠	下水道法				事業期間	<input type="checkbox"/>	単年度のみ		
予算科目	1.一般会計	8.土木費	4.都市計画費	3.都市下水路費		<input type="checkbox"/>	単年度繰返(開始年度 54 年度~)		
事業概要	安全な都市基盤の整備と防災のため都市下水路施設の維持管理を行う。 1. 龍山都市下水路 延長1387.6m、排水面積131ha 2. 寺内都市下水路 延長1749.2m、排水面積175ha 3. 久下田都市下水路 延長1240m、排水面積37ha 4. 第3工業団地調整池 5. 第4工業団地調整池 6. 第5防災調整池 7. 大和田産業団地調整池(第1, 2, 3) 8. 二宮ニュータウン調整池 9. 八木岡調整池								

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
23年度実績 施設の維持管理及び保守点検委託 ・都市下水路人孔補修 ・第4工業団地中継ポンプ更新(1基)	ア 施設維持管理等委託件数	件	2	2	2	2	2
	イ						
24年度計画 施設の維持管理及び保守点検委託	ウ						
	エ						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 排水区域内に設置している施設。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
ア: 都市下水路 イ: 調整池 ウ: エ: オ:	ア: 都市下水路	km	3.1	4.4	4.4	4.4	4.4
	イ: 調整池	箇所	3	5	7	8	8
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設の機能維持と道路占用における安全確保。	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
ア: 施設の補修(修繕)件数 イ: 除草・清掃実施箇所数 ウ: エ: オ:	ア: 施設の補修(修繕)件数	件	16	24	29	26	5
	イ: 除草・清掃実施箇所数	箇所	3	6	8	9	9
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 安全な都市基盤の整備と防災。	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
ア: 都市下水路排水面積 イ: ウ: エ: オ:	ア: 都市下水路排水面積	ha	306	343	343	343	343

(2) 総事業費の推移			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	16,509	19,267	19,229	21,084	0
		事業費計(A)	千円	16,509	19,267	19,229	21,084	0
人 件 費	正規職員従事人数	人		2	3	3	3	0
	延べ業務時間	時間		800	1,214	917	1,022	0
	人件費計(B)	千円		3,342	4,924	3,914	4,335	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	19,851	24,191	23,143	25,419	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	昭和54年5月の都市下水路の指定に伴い、施設の維持管理が必要となった。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	旧二宮町との合併及び新規の整備に伴い対象施設が増加している。 • H21.3(合併時) 都市下水路 2 3路線 / 調整池 3 5箇所 • H22.6 調整池 5 7箇所(大和田工業用地調整池 2号, 3号) • H23.5 調整池 7 8箇所(八木岡調整池) • H24.3(現在) 都市下水路 3路線 / 調整池 8箇所
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 都市下水路の維持管理は安全な都市基盤の整備に必要な施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 都市下水路は、市が設置管理する施設であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市の所有する施設であり妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 施設の機能維持が目的である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 施設の維持管理が困難となり安全な都市基盤の整備に支障がでる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の機能維持のための委託費や修繕工事等が主なものであり、削減すると支障が出る。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の管理や保守点検など可能なものは委託している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 安全な都市基盤の整備と防災のための事業であり公平である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 適切な維持管理を図るために、現在の事業内容を継続する。	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		